



「太田川水防災タイムライン検討会」が発足しました

時間	国土交通省				交通サービス	市町村	住民
	台風発生	台風の上陸の可能性	台風の上陸	大規模水災害の発生			
-120hr	○台風予報						
-96hr							
-72hr	○台風に関する記者会見						
-48hr	○台風に関する記者会見						
-36hr							
-24hr	○台風に関する記者会見						
-18hr	○大雨警報・洪水警報						
-12hr	○土砂災害警戒情報						
-9hr	○大雨・暴風・高潮・波浪特別警報						
-6hr							
-3hr	○氾濫危険情報						
0hr							
+3hr	○氾濫発生情報						
+12hr							
+72hr	○警報の継続/解除						

国土交通省

交通サービス

市町村

住民

太田川水防災タイムラインのイメージ



広島市長の挨拶

太田川河川事務所では、今年度より太田川流域における防災関係機関が連携し、災害発生時からさかのぼって「いつ」「誰が」「何をするか」を時間軸に沿って整理し、予め合意して文書化した事前の行動計画である「太田川水防災タイムライン」を策定することとし、平成29年11月6日に、広島市役所において「太田川水防災タイムライン検討会」の発足を開催しました。

発足式では、広島市、安芸太田町および広島県などの行政機関、バスや鉄道などの公共交通事業者、電気・通信等のインフラ事業者、地下街管理者、マスコミ関係者など検討会の構成機関のうち、28機関約90名が出席しました。

当日は、中国地方整備局長、

広島市長、安芸太田町長等の挨拶に続き、広島大学 河原教授より「太田川の自然災害」と題して講演をいただきました。その後、太田川河川事務所長より「検討会の今後の進め方」について説明が行われました。

続いて12月8日には、策定に向けた意識共有を目的として、構成機関の防災担当者を集めて現地視察と勉強会を開催しました。現地においては、太田川における危険箇所の状況、平成26年8月の土砂災害を受けた砂防堰堤の整備状況、および高潮対策事業の状況を視察いただきました。勉強会においては、災害時の気象情報や太田川の治水事業の概要などを説明し、水防災についての理解を深めました。出席者からは「太田川の治水事業に関する理解が深まった」「普段接することのない太田川を身近に感じることができた」などの声をいただきました。

このタイムラインは、太田川流域の特性を踏まえ、全国で初めて「洪水」「内水」「高潮」及び「土砂災害」の4つの事象を想定して検討する予定です。

今後、平成31年度出水期からの運用を目指し、鋭意検討を進めて参ります。

太田川の高潮対策について



- ※1：京橋川と猿猴川については広島県による対応となります。
 ※2：T.P.とは、東京湾平均海面を0mとした高さの基準で、一般に「標高」と呼ばれています。

国土交通省による広島市街地の高潮対策事業は、太田川（放水路）、天満川、旧太田川（本川）、元安川の4河川（※1）において、昭和55年より河口部から上流に向けて順次実施しています。

島湾を通過した場合に起こると想定される高潮の潮位まで堤防を嵩上げするもので、太田川水系河川整備計画に基づき、T.P.4.4m（※2）の高さまで整備する工事を進めています。

現在は、天満川の観船橋から広瀬橋付近の両岸において工事を行っています。なお、今後は、天満川の両岸を横川新橋まで整備するほか、旧太田川（本川）と元安川の国道2号より上流についても、整備を行う予定としています。



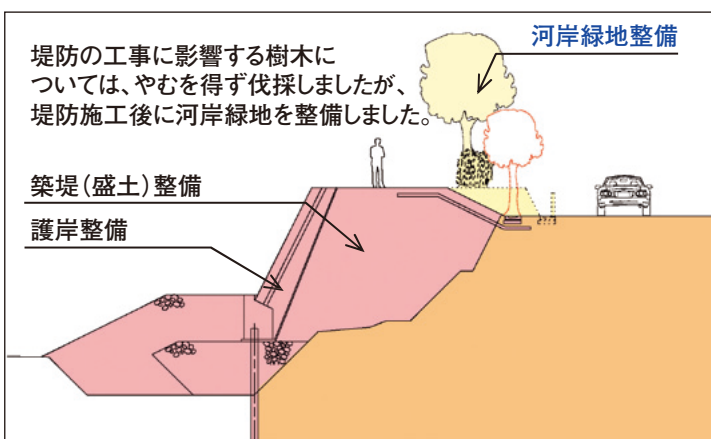
現地説明会の状況（平成29年8月10日）

高潮堤防工事は、河川沿いの遊歩道や緑地公園として多くの皆さまに利用いただいている場所で行っています。緑地公園には大きく育った樹木がありますが、工事にあたっては、樹木を極力残すよう努力します。しかしながら、堤防の嵩上げ工事に影響する樹木については、やむを得ず伐採することがあります。

工事にあたっては、周辺の皆さまに説明を行い、ご理解を得ながら進めてまいります。地域の安全・安心のため、ご理解をお願い致します。

なお、高潮堤防工事の施工後、スペースが確保できる場所には、広島市により緑地公園が別途整備される予定です。

高潮堤防工事の進め方



天満川左岸（中区側）の高潮堤防構造（新観音橋上流付近）



天満川左岸（中区側）整備後の状況（新観音橋上流平成29年撮影）

サンフレッチェ広島 森崎アンバサダーを 1日事務所長に迎えて



平成29年11月20日(月)に、「土木の日記念行事」の一環としてサンフレッチェ広島

の森崎浩司アンバサダーを1日事務所長に迎え、広島市立大町小学校で防災学習を実施しました。当日の防災学習では、自然災害の怖さを改めて認識してもらい防災意識の向上を目的として、大町小学校6年生105人が太田川放水路の歴史や土砂災害から身を守るための話、土石流のメカニズムを知る実験、防災キックターゲットを体験しました。森崎1日事務所長からは災害から命を守る5つの心得の呼びかけがあり、参加した児童からは、「避難の方法などを家に帰って話したい」などの感想がありました。

【災害から命を守る5つの心得】

- 知る…家や学校の回りの危険な場所を事前に知る。
- 察知…天気予報や雨量リーダーなどの防災情報を早く察知。
- 行動…災害が起きた時を考え家族と相談しておく避難行動。
- 学ぶ…防災訓練などに参加し避難の仕方や連絡の取り方を学ぶ。
- 備え…災害時の非常持ち出し品を事前に備える。

■森崎アンバサダーが一日事務所長に就任



森崎浩司アンバサダー



一日事務所長の任命式

「土木の日」とは？

地域の暮らしを支える社会基盤をつくるために必要な「土木技術」を広く知っていただくため、昭和62年に(社)土木学会により定められました。11月18日は土木学会の前身である「日本工学会」の創立日であり、また「土木」という字を分解すると「十一十八」と読めることから「土木の日」と定められました。国土交通省でも各種イベントを行っています。

「土木」の字をわけると、「土」 十と「木」にわかれ「木」 十と八にわかれることから11月18日を「土木の日」と決めました。

■大町小学校の防災学習の様子



防災キックターゲット



土石流模型実験



太田川放水路の歴史



土砂災害の話

被災地域の砂防えん堤、着々と整備中。

太田川河川事務所では、平成26年8月20日に発生した広島豪雨土砂災害により崩れて溪流に残っている不安定な土砂の安全性を確保する「緊急事業」については地域の皆さまのご協力により24溪流（25基）の砂防えん堤工事を平成29年5月に完了させたところ
1005溪流（小原砂防堰堤）安佐南区八木3丁目

緊急事業が完了した溪流を含む安佐南区山本、緑井、八木や安佐北区可部東、大林地区などにおいて、広島豪雨土砂災害と同規模の土砂災害が再び発生した場合の土砂に対する安全性を確保するため、引き続き、砂防えん堤等の整備を平成31年度末の完成を目指して工事を進めています。

平成29年8月以降、2溪流の砂防施設（管理用道路を除く）が完成し、さらに年度末までに2溪流の砂防施設が完成する予定です。

工事箇所周辺の皆さまには多数の工事車両の通行や騒音など、ご心配をお掛けしますが、安全対策を十分に行いながら早期完成を目指して参りますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



太田川で樹木伐採をしていただける方を募集します！

太田川河川事務所では、良好な河川環境を維持する取り組みとして、地域の皆さんの協力を得て、公募による樹木伐採を行います。

内容は、指定した区画に対し希望を募り、応募者自らが樹木を伐採し、持ち帰っていただくものです。伐採した樹木は、きのこ栽培の原木や薪、園芸や竹細工の材料など、暮らしの中で有効利用していただければと思います。

◆募集期間／平成30年1月15日（月）～2月2日（金）

※事前申込みが必要となります。

太田川河川事務所ホームページをご覧ください。太田川河川事務所管理第一課へお問い合わせください。

◆伐採期間／平成30年2月16日（金）～3月5日（月）

◆伐採場所／①広島市安佐北区口田南地先（大芝出張所管内）14区画

②山県郡安芸太田町下筒賀地先（加計出張所管内）15区画

【1区画は、幅10m×奥行20～30m程度】

◆伐採種類／ヤナギ、竹など

問い合わせ先は、太田川河川事務所 管理第一課 TEL (082) 222-9248



広島市安佐北区口田南地先



山県郡安芸太田町下筒賀地先

